



あしべつ

市議会だより

2024年
2月1日
No.30

芦別市議会ホームページ <https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/shisei/gikai/>

市議会と市民との意見交換会

令和6年2月13日(火)午後6時より、総合福祉センター2階ふれあいホールにて、市議会と市民との意見交換会を開催します。なお、詳細については後日ご案内します。皆様のご参加をお待ちいたしております。



芦別消防出初式（令和6年1月7日）

主な内容

- ◎ 総務常任委員会及び社会産業常任委員会道外行政視察…………… 2
- ◎ 12月定例会一般質問…………… 3～7
- ◎ 3月定例会市議会のお知らせ…………… 7
- ◎ 12月定例会の議決結果…………… 8

3月は、市議会（定例会）が開催され、荻原市長の2期目の最終年度であります令和6年度市政執行方針、教育行政執行方針に対する代表質問、一般質問、令和6年度予算など提案される議案に対する審議を行います。私たちが議員は市民の皆様の負託に応えられるようしっかりと審議してまいります。

3月には、市議会（定例会）が開催され、荻原市長の2期目の最終年度であります令和6年度市政執行方針、教育行政執行方針に対する代表質問、一般質問、令和6年度予算など提案される議案に対する審議を行います。私たちが議員は市民の皆様の負託に応えられるようしっかりと審議してまいります。

新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが5類へ移行したことにより、人々の活動が活発化し、私も議長として各種会議や要望活動など出席する機会が増えてまいりました。昨年11月8日に主要道道芦別美瑛線整備促進期成会の総会が美瑛町役場で開催され、総会終了後に旭川市、札幌市へ移動し北海道及び北海道議会へ要請行動を行いました。12月4日には、芦別商工会議所坂田会頭並びに役員の皆様から「地域振興・産業経済」、「観光・イベント」、「事業活動」等に関する令和6年度芦別市施策及び予算等への要望書が、また、11日には芦別建設業協会浅井会長並びに役員の皆様から令和6年度の公共事業に関し「安定的・持続的な事業量確保」、「単年度工事の計画的早期発注」等についての要望書が市長室において荻原市長に提出され、私も同席させていただきました。エネルギー価格や物価の高騰の影響による市内企業の厳しい経営状況や建設資材の高騰、若い世代の労働者不足等の建設業界の状況を伺いました。新年を迎えまして1月は、コロナ禍前の様に市内各団体の新年交礼会が開催され、出席させていただきましたご挨拶をさせていただきます。



議長動静

芦別市議会議長

北村

真

総務常任委員会

総務常任委員会は10月16日から19日までの日程で、茨城県大子町、常陸太田市、土浦市及びつくばみらい市を訪問し、行政視察を行いました。本視察では、交通弱者を守るための地域公共交通、本市と同規模の新庁舎建設、人口減少・子育て支援対策としての移住・定住促進、教育体制の小規模化を見据えた上での小中一貫義務教育学校を研究課題としました。

大子町では、A1乗合タクシーと新庁舎を視察しました。A1乗合タクシー事業はA1予約と道案内を導入したデマンド交通で、多様な乗降場所でも効率的な配車と運行管理が可能です。低コストで導入可能な事業として参考になりました。

大子町の新庁舎は、茨城県産の材木を活用し、漆や楮を原料とした美濃和紙を建具の装飾に採用しています。この庁舎は地元資源や特産品を最大限に生かし、町民の参加が感じられる素晴らしい建築物でした。常陸太田市では移住・定住促進事業を視察しました。

常陸太田市の、子育て支援に焦点を当てた取り組みを進め、人口減少に歯止めをかけた成果に感銘しました。未婚対策として、市外も含む会員登録制度を導入し、女性の婚活参加を増やすためにカップリングにこだわらず柔軟な出会いの場を提供しています。

土浦市では小中一貫の義務教育学校を視察しました。



(茨城県常陸太田市)

土浦市立新治学園義務教育学校は、児童・生徒の個性を尊重し、教育に想像力と共感を注ぎ、地域との連携を重視しています。地域の声を聞き、芦別市に適した方針を構築する必要があると感じました。つくばみらい市では市民ニーズの多様化に対応するための施設「みらい平市民センター」を視察しました。平成17年につくばエクスプレスが開業後、子育て世帯の移住増加に伴い設置されました。同センターはフロアごとに異なる役割を担い、1階には郵便局があります。好立地なつくばみらい市と対照的に人口減少が進む芦別市では、教育や子育て支援策が重要であると学びました。今回の行政視察で得たことを、今後の議会活動に活かしたいと考えております。

社会産業常任委員会

社会産業常任委員会は10月23日から26日までの日程で、静岡県御前崎市、湖西市、愛知県新城市及び蒲郡市を訪問し行政視察を行いました。

御前崎市では、「リターン就職応援プロジェクト制度」について、人口減少、働き手不足による事業基盤の弱体化、税収の減少などを課題とした視察を行いました。課題としては、教育ローンの申込期限や長期にわたる利用者の管理方法、学生への情報伝達や若者の働く場の確保と企業の雇用確保において、人口減少の是正と企業の経営安定に向けた考察が必要と感じました。

湖西市では、水道スマートメーターの取組について、給水人口の減少に伴う水需要・料金収入の減少や水道施設の老朽化、将来の労働力不足などを課題に視察をしました。芦別市における現在の検針業務は、検針員により検針業務を行っており、人的ミスや検針員の確保などのほか、効率性の観点からも抜本的な業務改善が考えられるため、水道スマートメーターによる自動検針を検討する必要性を感じました。

新城市では、道の駅におけるドッグラン整備について、芦別市における道の駅にドッグランを設置することの是非と可否についての観点から訪問しました。本市においてのドッグランの設置については、場所や規模、管理者の問題や冬期間の施設管理、利用者や集客に関する影響等を慎重に検討する必要があると思われま



(静岡県湖西市)

蒲郡市では、健康推進事業の取組について、健康化政策全庁的推進プロジェクト並びにオンライン服薬・診療について視察を行いました。ここでは、市当局が市民の健康向上に熱心に取り組んでいると感じられ、特にオンライン服薬・診療については、本市としても医師不足や診療科目の少なさといった課題に直面しており、市民が手軽に医療サービスを受けられる手段として期待されます。ただし、蒲郡市の取り組みから診療報酬やWebを使用する技術的な課題も浮き彫りになり、これらの課題に果敢に取り組みむことで、市民にとってより良い医療環境を提供することができると思われ、今後の技術の進歩に期待しながら、積極的に新しい医療サービスの導入を検討していくことが大事であると改めて感じました。この行政視察で学んできたことを、今後の議会活動に生かしていきたいと考えております。

12月定例会 一般質問

12月定例会 一般質問

新星クラブ



新村 充 議員



新村議員の
YouTube
動画

市職員の適正配置について

質問

将来を担う若手職員の採用に力を入れていくのも大事だが、その若手職員を教育できる身近な存在としての中間層が少なくなっているということが問題だと思う。欠けている中間層の職員をしっかりと採用し、教育することでバランスのとれた職員の配置等が可能となると思うが、中間層の職員を中途採用などで積極的に採用していく考えについて伺う。

答弁

本市は令和3年度から中間層とされる社会人枠の募集を行い、採用試験を実施しているところであり、今後も社会人枠の募集を継続して行い、民間企業等で培った経験やスキルを活かし、即戦力として活躍できる人材を求めるとともに、職員の年齢構成のバランスがとれるよう意を用いてまいりたいと考えております。

質問

一部の係では、配置後にすぐ休職したり、経験年数が浅い職員がまとめて配置されたり、バランス性をかいているのではないかという事例がある。職員の異動における自己申告制度などを活用しているとは思いますが、依然として人事はブラックボックスであると感じている。現場の声を汲み上げる仕組みはあるか伺う。

答弁

人事担当部署である総務部において、職員から職場の状況や仕事の悩みなどについての相談や報告を受ける窓口となり、常に職員からの声に耳を傾ける仕組みを確保し、現場の状況を把握しながら職員の配置に努めているところであり、

質問

コンビニでの住民票・印鑑登録証明書の交付について

質問

仕事が終わるのが遅く、合わない方や、平日は全く時間の取れない方などのために、コンビニで住民票や印鑑登録証明書が発行できるようにになれば、市民の利便性向上につながる。近隣でも導入している市町村は多いと思うが、コンビニでの住民票・印鑑登録証明書の交付について進めていく考えはあるか伺う。

答弁

（示唆のように、その必要性を認識しており、

創政会



大鎌 光純 議員



大鎌議員の
YouTube
動画

観光振興について

質問

観光振興の必要性や観光客が訪れるまちづくりを行うことについて伺う。

答弁

観光振興は地域経済の波及効果に加え、雇用の創出、歴史の継承など多くの側面で重要な役割を果たすものであり、本市の観光資源を最大限活用することで、観光客の誘致促進と産業振興により、定住人口の増加や経済の好循環を生み出す可能性があるので、必要なら取り組みであると認識しております。

質問

既に存在し、観光資源となり得る花や自然環境、風景を発掘し情報発信を行うことについての取り組みと成果について伺う。

答弁

地域おこし協力隊員の制作冊子による「あしべつぐらし」にて、日常にあふれた景観や風景が温かみのあるイラストで紹介され、新たな魅力の発掘につながったことに加え、既存の観光資源については、芦別観光協会ホームペ

ージや同協会のSNSによる情報発信をはじめ、様々な観光PR動画やパンフレット等により周知を図っております。

質問

国設芦別スキー場の第3リフト斜面に花を植栽することについて伺う。

答弁

「芦別市花と木緑化推進事業」の構成事業の一つとして、第2リフト斜面中腹から頂上にかけて花を植栽する計画でありましたが、平成22年度と翌年度の2年間にわたり多年草の植栽を試験的に実施したところ、既存の草木の根や雑草等の繁茂に阻害され、十分な成育に至らず断念した経過があることから、現状では実施は困難と考えております。

市民福祉の向上について

質問

市立病院の夜間救急時における帰宅対策について伺う。

答弁

深夜帯における自家用車がない方への対策としてのボランティアシステムなどへの取り組みについて、市内タクシー会社は午前1時30分に受付を終了しており、以前の打ち合わせでは、受付時間を延長したタクシーの運行は困難なことを確認していることから、深夜帯におけるボランティアによる対応や、自家用有償旅客運送導入の可能性などについて研究したいと考えております。

創政会



田森 良隆 議員



田森議員の
YouTube
動画

ドッグランについて

質問

6月、9月と議論を深めたが、最終的に維持管理や財政問題と受け止めた。前回、声別観光協会と話し合いの場を設けたいとの答弁であったが、その後の経過と市の考えを伺う。

答弁

道の駅エリアにドッグランを設置した場合に期待される効果やリスク、維持管理について意見交換したところ、道の駅の集客効果に資する取組であることから、管理運営に対して概ね肯定的な考えが示されたところであり、今後、同施設の設定に向け、場所や財源対応を含めて具体的に検討したいと考えております。

空き地対策について

質問

個人業者も含めて空き地を活用した効率の良い除排雪ができないか伺う。

答弁

個人業者による空き地を活用した除排雪は、民有地であることから土地所有者の意向に沿い、相対で活用されることが

望ましく、また、本市が実施する除排雪時の置き場活用については、面積が狭く堆積するにあたっての作業効率の観点から、難しいものと考えております。

意見

雪が積み上げられるのは、市の除排雪が間に合わず、雪捨て場がないからである。一時的に空き地に雪を置いてはどうか。所有者には多少の補助金が必要と考える。また、先月の町内会連合会議の中で、中島会長から同じような提案をされたと同った。少し時間をかけて協議したいとの答弁なので、その経過も含め、後日質問したい。

行政運営について

質問

市の組織体制として、どのような考えに基づいて職員を配置しているか伺う。

答弁

基本的には、職場内の年齢構成、業務量などを考慮し、各職員の同一職場における勤務年数や経験、専門的な技術や知識などを踏まえ、能力が発揮できるよう適材適所な職員配置に努めております。

再質問

ある部署はこの1年余りで経験者がほとんど異動し、業務に支障を来していると思われる。基本的な考えに沿った職員配置になっていないのではないかと。

答弁

総務部では職場から話を聞く機会を都度設けており、毎年1回職員が提出する自己申告書に記載された異動希望などを

参考にし、できる限り本人の意向に沿った配置に取り組んでいるところであります。

日本共産党



松井 邦男 議員



松井議員の
YouTube
動画

総合庁舎建設基本計画について

質問

総合庁舎建設は市と市民にとって大事業で、市民の理解と合意のもとに進められるべき。総合庁舎と浄水場の供用開始予定である、令和11年前後の財見通しを伺う。

答弁

50億円規模となる浄水場建設と建設費増高が想定される総合庁舎を同時期に施工することは、多額の一般財源が見込まれるため、財政運営が大変難しく、このため市民へ過度な負担を強いることは避けなければならないと考えております。財政状況の見直しと今後の方向性については、明日開催の新総合庁舎整備特別委員会で説明いたします。

学校教育について

質問

子どもの生理の貧困について、人権に配慮した

学校トイレでの生理用品配備について伺う。

答弁

小学校では高学年女子トイレや体育館トイレに、中学校では女子トイレに配備し、自由に利用できるようにしております。中学生の給食費無償化実施に向けての考えを伺う。

質問

子育て支援推進のため、小学生と同様に、令和6年度からは中学生についても給食費の無償化を実施したいと考えております。

答弁

市立病院などの医師確保について

質問

市立病院常勤医師の定年見込みと今後の医師確保について伺う。

答弁

医師の定年については、令和6年度末で1名、7年度末で1名あり、それぞれに定年延長を要請し、引き続き勤務いただくようお願いいたしますとともに、現在1名体制で疲労が著しい消化器内科医師を含む内科系医師の招へいに向け、関係機関などへの派遣要請を粘り強く行ってまいります。

質問

診療科にこだわらない開業医誘致が各地で取り組まれているが、市での検討状況と、地域医療連携推進法人設立の考えについて伺う。

答弁

開業医誘致については、市医療協議会等において、今後、機会を捉えながら意見交換の場を設けたいと考えております。

また、地域医療連携推進法人制度は、医療機関等が合併することなく、医療連携を行える大きなメリットがあると認識しているため、中空知医療圏での地域医療連携推進法人の設立について、当院も関係医療機関等との協議について検討してまいります。

無所属



若松 市政 議員



若松議員の YouTube 動画

芦別市の農業振興について

質問

先月、新聞に芦別産米についての連載記事が掲載された。以前から芦別産米は評価されていたが、この連載で、改めて国内はもとより海外での評価が高まっていることを認識した。市の芦別産米に対する見解を伺う。

答弁

芦別産米に対する見解について、本市の稲作に適した自然環境を活かし、長年にわたって生産者及び農業関係機関が一体となり、栽培技術や品質向上に向けた取組と不断のご努力によって、高品質米の生産に結びついていると認識しており、国内外で高い評価を得ていることは、市としても大変喜ばしく思っております。

新総合庁舎と新浄水場の建設について

質問

新総合庁舎と新浄水場建設について、二つの大きな事業を実施するにあたり、建設費等の財源を伺う。

答弁

総合庁舎の建設財源としては、一定の目途として、総事業費35億円のうち、地方債22億4千7百万円及び一般財源の事前積み立てを予定している庁舎建設基金12億5千3百万円を見込んでいくところであり、また、新浄水場建設の財源については、総事業費50億3千万円のうち、国庫補助金15億8千万円、企業債30億4千万円、一般財源である水道料金4億1千万円を見込んでおります。

質問

新浄水場完成後の水道料金を含めた水道事業運営のための財源について伺う。

答弁

水道料金及び受託手数料等の収益による運営を基本としていますが、近年の資材、燃料の高騰のほか、人口減少に伴う料金収入も減少していることから、水道料金の改定が必要であり、改定にあたっては、市民生活に多大な影響を及ぼさないよう、一般会計からの財政支援を行うこととして検討いたしております。

質問

財政に対する市民の不安をどう解消されるのか考えを伺う。

答弁

浄水場及び総合庁舎を同時期に施工することに

については、多額の一般財源を要することが見込まれ、財政運営上大変厳しいものと捉えており、このために市民に過度な負担を強いることは避けなければならないものと考えております。

公明党



松尾 達矢 議員



松尾議員の YouTube 動画

带状疱疹ワクチンについて

質問

ワクチンが接種できる医療機関と費用について伺う。

答弁

市内4医療機関となっており、費用については、生ワクチン1回接種で1万円程度、不活化ワクチン2回接種で4万5千円から5万円程度となっております。ワクチン接種に係る費用の助成について伺う。国や他の自治体の動向を見極めながら、検討したいと考えております。

子育て家族の応援について

質問

市の保育所施設はいくつあるのか、また、年齢ごとの預かり状況と今後の推移について伺う。

本市には、市の保育認定による施設として3施設があります。また、12月1日現在の入所状況は3施設合計で、0歳児15名、1歳児18名、2歳児16名、3歳児12名、4歳児23名、5歳児19名の103名が在籍しております。

なお、今後の推移について、母親が出産後に早期職場復帰を希望する方が増えている状況にあり、0歳から2歳児の入所希望が増加するものと推測しております。

質問

市民から、下の子の0歳児預かりについて保育所へ相談したところ、申込んだ時点で0歳児の受入枠がなかった場合、下の子が預けられないのはもちろんのこと、既に入所している上の子ども保育所を退所しなくてはならないと言われているとの話を聞いた。保育所入所に関し、柔軟な対応ができないかについて伺う。

答弁

このような事例では、既に入所されている児童が次年度に小学校入学を控えた5歳児の場合を除き、退所をお願いしている状況であります。保育所入所の柔軟な対応につきましては、国の通達や他市の柔軟な運用を取り入れ、今後は、既に入所されている児童を退所させないよう対応を図ってまいりたいと考えております。

高齢者に寄り添うまちづくりについて

質問

市民会館大ホール内にある階段に手すりを設置できないかについて伺う。

答弁

市民芸術祭など大ホールを利用する各種行事においては、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民の皆様が参加されており、利用者の安全性の確保と利便性の向上を図る観点から、手すりの設置は必要であると考え、速やかにその対応を図ってまいります。

こうせい



清澤 茂宏 議員



清澤議員のYouTube動画

市内商業者の振興について

質問

市内の商店や飲食店の現状について伺う。

答弁

人口減少や消費者ニーズの多様化、購買力の市外流出、インターネット通販の普及、経営者の高齢化等々の複合的な要因が重なり、厳しさが増す状況下にあるものと認識しております。

質問

店舗リニューアル事業度設計にするため対象事業費の額をもっと少し細分化する考えはないか伺う。

答弁

市内事業者の皆さんのニーズや、地域経済の動向を見据えながら、その見直しに向け検討したいと考えております。

質問

補助政策を持つことは、商店や飲食店の閉業を食い止めるために必要な検討事項だと思いが、事業承継者に対する奨励金制度創設の考えを伺う。

答弁

芦別商工会議所及び芦別金融協会との意見交換を行う中で、事業承継に資する制度の有りに関して検討したいと考えております。

芦別市奨学金制度について

質問

近隣自治体の奨学金対象学生1人当たりの貸与上限月額及びその平均月額を伺う。

答弁

空知管内の奨学金貸与制度を有している4市のうち2市が上限月額4万円、2市が3万円となっており、その平均月額は3万5千円となっております。(本市は上限月額6万円)

質問

教育資金・学資ローン借り入れの際の利子補給についての考えを伺う。

答弁

利子補給制度を新たに設けることは、現時点では難しいと考えておりますが、今後の検討事項の一つにしたいと考えております。

質問

奨学金の貸与について、年度初めに貸与希望額を聞き取り、その金額を一括で貸与することを検討できないか伺う。

答弁

貸付方法の弾力化については、他の自治体における事例を調査するなど、今後の研究課題とさせていただきます。

質問

奨学金の返済について、1月ごとの返済や返済月の指定、また、支払い方法についてはクレジットカードや電子決済の利便など、今後、被貸与者が選択することができるのか伺う。

答弁

返済方法の新たな制度設計につきましては、被貸与者のニーズを踏まえ、検討してまいります。

新星クラブ



竹内 真 議員



竹内議員のYouTube動画

2025年問題について

質問

労働人口の減少に対しての現状把握と今後の対策を伺う。

答弁

商工会議所と連携し、毎年企業説明会などを開催しているほか、「芦別しごとナビ」により全国に広く求人情報等を発信し、市内事業所への就職者にふるさと就職奨励金を交付してあります。また、広域的な取組として「NAKASORA(なかそら)」にこよう推進協議会」など就職促進イベントへの市内企業の出展や高校生への参加案内、インターンシップ事業の受け入れ企業の調整や人材確保の機会創出に資する取り組みを行い、移住者への家賃支援や持ち家取得奨励事業などの施策を組み合わせ、今後もこれらの支援制度の充実強化を図り労働力人口の確保に努めてまいります。

質問

介護人材不足の現状把握と道の介護従事者確保総合推進事業費補助金の活用状況を伺う。

答弁

第9期介護保険事業計画の策定に向け、各介護事業所にアンケート調査を実施したところ、回答のあった7件中6件において職員の採用が困難な状況にあるとの回答がありました。補助金については、「みんなで介護を考える会」がキャリアパス支援等研修事業として例年活用しているところであります。

健康寿命の延伸について

質問

次世代を含めたすべての人の生活習慣形成、疾病予防・重症化予防、介護予防・フレイル対策、認知症予防と三つのフェーズに分けた取組みについて伺う。

答弁

妊娠期からそれぞれのライフステージに応じ、健康教育や運動習慣の定着において

創政会



林 伸樹 議員



林議員の
YouTube
動画

芦別しごとナビについて

質問

芦別しごとナビを通じて採用活動における事業評価の内容と結果を伺う。

答弁

令和4年度実績は、求人掲載企業数が45社、サ

スマートフォンなどのデジタル技術を活用した働きかけを行い、健康診査やがん検診の受診勧奨や保健指導を積極的に推進し、健康相談、まる元運動教室、いきいき百歳体操などを引き続き実施してまいります。

質問

保健福祉施設すばるを一般開放し、トレーニングマシンの利用などを行うことは可能か伺う。

答弁

当該施設の一般開放や附帯する設備の貸し出しは施設の目的外使用となることからあり、利用者の安全や施設の管理保全体制を確保するために必要な職員の配置も難しいことや現在面会を制限していることから、一般開放による利用は困難なものと考えております。

イト活用による就職者数が3名となり、目標を達成し、一定の効果があつたことから、今後も市内企業への就業促進及び定住人口の確保等に向け、運営を継続していくこととしてあります。

地元企業への就職促進支援について

質問

新たな情報発信や交流の場とした情報プラットフォームの場の推進事業として、庁内横断的に取り組むことが必要と考えるが見解を伺う。

答弁

少子高齢化の進展が著しい本市においては、特に深刻な状況でありますことから、庁内横断的に情報を共有し、あらゆる政策課題に臨むことは極めて有効であるとされており、そのような対応に意を用いたいと考えております。

教育の充実や学校のあり方について

質問

芦別高校が設置される学校運営協議会について、教育委員会の設置や活動に対し、どのように関与されるのか伺う。

答弁

令和6年4月に設置される芦別高等学校学校運営協議会の委員として、教育長が参加することとなっており、学校運営協議会における議論の場において、芦別高校と小中学校との更なる連携のあり方や芦別高校の魅力づくりに向け、具体的な意見交換をしてまいります。

質問

評議員会など諮問機関として星槎国際高等学校と関わる必要があると考えるが、現在の状況と今後の関係性について伺う。

答弁

現在、学校法人国際学園から芦別市関係者が評議員への就任の要請を受けていないところでありますが、これまで不定期ではありますが同校と意見交換を行っており、市としては学校運営と入学生の確保を支援する一方、同校からは特別支援教育の取組での連携のほか、生徒発案のゆるキャラの作成やJR芦別駅到着メロディーを提供いただくなど、地域活性化に協力いただいておりますことから、今後も関係維持に努めたいと考えております。

議会をインターネットで生中継

本会議の様子を、動画配信サイトYouTube(ユーチューブ)で生中継いたします。

過去に開催された本会議、常任委員会、特別委員会も視聴することができますので、ぜひご覧ください。



芦別市議会
YouTubeチャンネル



3月定例会市議会のお知らせ

- ◆会期 3月7日(木)～22日(金)
- ◆日程 7日(木) 本会議(議案の提案)
- 11日(月) 本会議(代表質問・一般質問)
- 12日(火) 本会議(一般質問)
- 13日(水)・14日(木) 常任委員会
- 15日(金)・18日(月)・19日(火)・21日(木) 予算審査特別委員会
- 22日(金) 本会議(議案の議決)

◆開会時間

いずれも午前10時から
※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります。



議会の動き

令和5年11月～令和6年1月

【11月】

- 6日 議会改革特別委員会道内視察
(芽室町・帯広市)
- 8日 主要道道声別美瑛線整備促進期成
会総会及び要望活動(美瑛町ほか)
- 9日 総務常任委員会学校視察
(上芦別小・啓成中・芦別高)
- 10日 財政制度勉強会
- 13日～14日 総務常任委員会
(所管事務調査)
- 15日～16日 社会産業常任委員会
(所管事務調査)
- 17日 芦別消防署職員との意見交換会
(芦別消防署)
- 24日 中空知広域市町村圏組合議会
第2回定例会(滝川市)
- " 中空知衛生施設組合議会
第2回定例会(滝川市)
- 27日 議員会派代表者会議
議会運営委員会
主要道道美瑛富良野線整備促進期
成会総会及び要望活動(札幌市)
- 28日 第7回市議会(臨時会)
社会産業常任委員会
- 30日 議員会派代表者会議
議会運営委員会
石狩川流域下水道組合議会
第2回定例会(滝川市)
- " 空知教育センター組合議会
第2回定例会(滝川市)
- " 滝川地区広域消防事務組合議会
第2回定例会(滝川市)

【12月】

- 7日 議員会派代表者会議
議会運営委員会
- 7日～15日 第8回市議会(定例会)
- 7日 社会産業常任委員会
- 12日 新総合庁舎整備特別委員会
- 13日 総務常任委員会
議員会派代表者会議
議会運営委員会
社会産業常任委員会
- 14日 社会産業常任委員会
- 15日 広報広聴委員会

【1月】

- 18日 広報広聴委員会
- 24日 広報広聴委員会
- 26日 総務常任委員会
議員会派代表者会議
議会運営委員会
- 29日 第1回市議会(臨時会)

12月定例会の議決結果

12月7日、令和5年第8回市議会(定例会)が招集され、会期を15日までの9日間と定め、令和5年度補正予算、条例制定・改正、人事案件などが審議されました。議決結果は以下のとおりです。

■全員賛成の議案

議案	件名	結果
補正予算	一般会計(第9号)	原案可決
"	一般会計(第10号)	原案可決
"	国民健康保険特別会計(第2号)	原案可決
"	介護保険事業特別会計(第2号)	原案可決
"	介護保険事業特別会計(第3号)	原案可決
"	病院事業会計(第2号)	原案可決
"	水道事業会計(第1号)	原案可決
条例制定	市外火葬場使用料助成金交付条例	原案可決
"	妊産婦健康診査実施条例	原案可決
条例改正	基金条例	原案可決
"	市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例	原案可決
"	水道事業の設置等に関する条例等	原案可決
"	国民健康保険条例	原案可決
"	健民センター条例	原案可決
"	企業振興促進条例	原案可決
"	市営住宅等管理条例	原案可決
"	オートキャンプ場条例	原案可決
"	廃棄物の減量及び処理に関する条例等	原案可決
"	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例	原案可決
"	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決
"	不妊治療費助成条例	原案可決
"	妊産婦安心出産支援事業費補助金交付条例	原案可決
"	空家等対策条例	原案可決
人事案件	副市長の選任(被選任者:高橋克嘉氏)	同意
その他	過疎地域持続的発展市町村計画の変更	原案可決
"	公の施設の指定管理者の指定(市営住宅等)	原案可決
"	選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙 (委員当選人:瀬戸俊郎氏、小川圭二氏、黒田清美氏、石岡祐二氏) (補充員当選人:北川 広氏、市川 豊氏、佐藤則江氏、定田 勉氏)	当選
意見書	パレスチナ自治区ガザ地区における即時かつ持続的な人道的休戦さらに停戦への外交努力を求める意見書	原案可決
"	地域医療を守るために、診療報酬の引き上げを求める意見書	原案可決
"	医療・介護・障がい福祉分野における処遇改善等を求める意見書	原案可決
"	認知症との共生社会の実現を求める意見書	原案可決

■賛否が分かれた議案 ○:賛成、×:反対、△:退席、欠:欠席、/:採決なし、議:議長

事件	件名	結果	大鎌光純	林伸樹	田森良隆	新村充	竹内真	石川洋一	松井邦男	若松市政	清澤茂宏	松尾達矢	北村真
条例改正	手数料条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議

編集後記

12月議会では9人の議員が一般質問し、16件の条例改正・制定を議決しました。今議会の特徴の一つに、財政が厳しい中で子育て世帯などへの支援拡充がありました。一方、財政運営を理由に浄水場更新を優先し、総合庁舎の建設は先送りとなりました。

今後の市政執行にあたり、人口減少、税収減が進むもとの財政収支が厳しい状態について、認識の共有を改めて痛感しました。

議会では、ガザ紛争で連日多くの人々が爆撃の犠牲となる悲惨な状況に、芦別から何とか声をあげなくてはと議会全会派が共同提案者となって、即時かつ持続的休戦と停戦に向けて、政府に外交努力を求める意見書を議決しました。新年1日、能登半島地震が発生しました。津波と地震・火災で家屋の倒壊、焼失で亡くなられた方々に対するご冥福と、被災された皆様に対してお見舞いを申し上げます。1日も早い生活支援と地域復興を心から願うものであります。(松井)

芦別市議会広報広聴委員会

- 委員長 松尾達矢
- 副委員長 大鎌光純
- 委員 竹内 真、松井邦男